

2026年3月期 第2四半期 連結決算概況

2025年11月7日

オリンパス株式会社 | 取締役 代表執行役 社長兼 CEO ボブ・ホワイト | 執行役 CFO 泉 竜也



- CEOのボブ・ホワイトでございます。
- オリンパス株式会社「2026年3月期 第2四半期決算および経営戦略説明会」にご参加いただき、誠に有難うございます。

免責事項

- 本資料のうち、業績見通しなどは、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定な要素および今後の事業運営や内外の状況変化などによる変動可能性に照らし、実際の業績などが目標と大きく異なる結果となる可能性があります。
- また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。
- 本資料は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。また、医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれていますが、あくまでも当社の技術開発の一例としてご紹介するものであり、将来の販売をお約束するものではありません。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

目次

- CEO 1. エグゼクティブサマリー
- CEO 2. ビジネストピックス
- CFO 3. 2026年3月期第2四半期連結業績および事業概況
- 4. Appendix

エグゼクティブサマリー

エグゼクティブサマリー 2026年3月期第2四半期連結業績

売上高

2,478 億円

+4% / +4%

GIS +3% / +3%

SIS +5% / +5%

調整後営業利益

374 億円

▲9% / ▲22%

調整後営業利益率

15.1%

▲4.9 pp

■ 前期比が替影響調整後
■ 前期比円ベースが替込み

- 1 第2四半期の業績は概ね見通しに沿って進捗。下期にさらなる回復を見込み、通期見通しは据え置き
- 2 規制要件へのコミットメントを示すべく、FDAとの連携と対話を強化
- 3 インテリジェント内視鏡医療エコシステム構築の第一歩として、10月末より米国および欧州の一部の国々でOLYSENSEを発売
- 4 中国での現地生産の準備が順調に進み、近日中に最初の製品を販売開始予定
- 5 市場拡大とケイパビリティの強化により、新興国市場で前期比+約20%の成長を達成
- 6 泌尿器科のシングルユース内視鏡製品、消化器科処置具の胆管向けステントに関するグローバル販売契約を締結し、注力領域におけるポートフォリオを強化
- 7 新戦略の導入に伴い、スピードと説明責任を高めるために組織を最適化し、約2,000のポジション削減を実施予定

(注) 医薬品医療機器等法承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております



第2四半期は順調に進捗しました。新製品の導入や、新たな販売契約、中国での現地生産が順調に進み、当社の実行力は着実に向上しています。これから新たな戦略を開始し、ステークホルダーの皆さまからの信頼に応えながら、短期的・長期的な成功に向けて果敢な取り組みを実行してまいります。”

ボブ・ホワイト
取締役 代表執行役 社長兼
CEO（最高経営責任者）

OLYMPUS

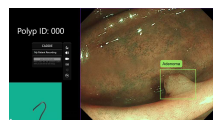
- 第2四半期の業績は、概ね8月に公表した見通し通りに進捗しました。下期にさらなる回復を見込んでおり、通期見通しの達成に向けて順調に推移しています。第1四半期決算説明会でご紹介した、EDOFスコープ、EU-ME3、EBUSスコープ、VISERA ELITE III、THUNDERBEAT2などの新製品が、成長を牽引する見込みです。
- 同時に、品質保証・法規制対応の変革プロジェクト「Elevate」を通じて、品質保証および法規制のプロセスを強化しています。すべてのメドテック企業と同様に、当社も定期的に査察を受けており、警告書に関連する査察については、2025年中に少なくとも一部が完了する見込みです。当社は米国食品医薬品局（FDA）およびその他の規制当局と積極的に連携し、すべての規制要件を満たすことに尽力しています。
- イノベーションの分野では大きな進展を遂げており、10月末には、米国および欧州の一部の国々でOLYSENSE CAD/AI（人工知能（AI）を搭載したコンピューター支援診断）を発売しました。これは、当社のインテリジェント内視鏡医療エコシステム構築の第一歩となる製品です。OLYSENSEは、AI技術を活用し、病変の早期発見や臨床成果の向上、診療・業務フローの効率化を支援することで、患者さんのケアの質的向上に貢献します。
- 中国では、現地生産の準備を加速しており、中国市場に向けて「Made in China」の製品を提供できる体制を整えています。近日中に、当社初の現地生産製品を発売する予定です。
- 新興国市場は、前年同期比で約20%の増収となり、力強い成長が続いています。これらの地域では成長機会が拡大しており、今後も医療基盤の強化に貢献することで、持続的な高成長を実現してまいります。
- また、泌尿器科と消化器科処置具の分野において、MacroLux Medical社とのシングルユース泌尿器科製品、およびW. L. Gore & Associates社との胆管向けステントに関するグローバル独占販売契約を締結し、ポートフォリオを強化しました。こうしたテクノロジーを軸にしたパートナーシップにより、多様な臨床ニーズに応えるとともに、主要な治療領域におけるグローバルなプレゼンスを強化しています。
- 最後に、本日この後、当社の新たな中長期戦略をご紹介しますが、この戦略の一環として、グローバル全体で組織構造の最適化を進めてまいります。さらなる強さ、スピード、俊敏性を備えた組織へと変革する中で、事業規律をより明確にし、業務の最適化を進め、リーダーシップの説明責任を強化しています。こうした取り組みの中で、2026年3月期から2027年3月期にかけてグローバルで約2,000のポジション削減を実施するなど、構造改革を通じてコスト効率の向上を図ります。これらの取り組みにより、当社の基盤が一層強化され、持続的な成長に向けた歩みが加速すると確信しています。

ビジネストピックス

米国および欧州の一部の国々でOLYSENSEのCAD/AIを発売

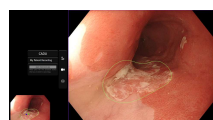
オリンパスは、クラウドベースで統合され、柔軟に拡張可能なアプリケーション群「OLYSENSE」を通じて、次世代の内視鏡医療エコシステムを展開

OLYSENSE



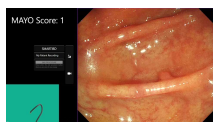
CADDIEソフトウェア¹（米国・欧州）

結腸ポリープの検出および鑑別¹を支援



CADUソフトウェア（欧州）

バレット食道患者における異形成の検出を支援



SMARTIBDソフトウェア（欧州）

潰瘍性大腸炎の客観的評価をMAYOスコアに基づき支援



クラウドとAIを活用した内視鏡ソリューションは、臨床現場を大きく変革しています。リアルタイムの意思決定支援や評価の標準化により、医師の早期かつ正確な診断を助け、ワークフローを効率化し、患者さんのアウトカム改善に貢献します。クラウドを活用した内視鏡は、継続的なイノベーションと先進医療への幅広いアクセスを可能にします。”

チェザレ・ハッサン教授
伊ヒュマニタス大学 消化器内科

¹ 米国では、CADDIEは大腸ポリープが疑われる病変の検出を支援する目的でのみ認可されています。CADDIEには、CADDIEのポリープ検出機能がオンであり、使用中であることをユーザーが確認するための便利な機能として、「盲腸到達通知」AI機能が搭載されています。欧州では、CADDIEは「盲腸到達通知」AI機能および「粘膜洗浄度」AI機能を含む、大腸ポリープが疑われる病変の検出および診断を支援する機能が承認されています
(注) 医薬品医療機器等法承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております

7

OLYMPUS

- インテリジェント内視鏡医療エコシステムの進化に向けた重要な一歩として、10月末に米国および欧州の一部の国々でOLYSENSE CAD/AIを発売しました。このクラウド型AIソリューションは、サブスクリプションモデルで提供され、消化器病変の検出・鑑別・解析を支援することで、病変の早期発見や臨床成果の向上、患者さんのケアの質的向上に貢献します。
- 本ポートフォリオには以下のアプリケーションが含まれます。
- CADDIE¹：結腸ポリープの検出および鑑別を支援します。
- CADU²：バレット食道患者における異形成の検出を支援します。
- SMARTIBD²：潰瘍性大腸炎の客観的評価をMAYOスコアに基づき支援します。
- 内視鏡検査の需要が高まる中、OLYSENSEは、消化器内科医が直面する業務量の増加、事務作業の負担、予算制約、人材不足といった課題に対応し、スクリーニングや早期診断の効率化、診療チームが適切な患者さんのケアに集中できる環境づくりを支援します。
- 当社は、製品のアップグレードサイクルの長期化につながっている「製品販売」のビジネスモデルから、継続的なソフトウェアの強化により「常にイノベーションを提供し続ける」ビジネスモデルへの移行を進めています。クラウド型のソフトウェアの自動アップデートやオンデマンドアプリケーションによって、AIを含む最新技術とのシームレスな統合が可能になります。医師に革新的なツールを提供し、業務フローの効率化と、患者さんへの最適な医療の提供を支援します。
- OLYSENSEによって、顧客エンゲージメント、安定した収益、市場シェアの向上を図り、長年にわたる高い成長ポテンシャルを確信しています。

¹ CADDIEは米国ではポリープの検出を支援する目的でのみ認可されており、鑑別機能は含まれていません。

² SMARTIBDおよびCADUは米国では提供されていません。

中国での現地生産に向けた準備を加速

- 中国市場に向けて「Made in China」の製品を提供できるよう、江蘇省蘇州市での生産を開始
- 2025年8月に、EDOFスコープが江蘇省薬品监督管理局（MPA）より医療機器登録証を取得し、近日中に販売開始予定
- 複数の「Made in China」製品の市場投入に向けて、今後も現地当局と緊密に連携

● サービスセンター ● トレーニングセンター ● 製造拠点



中国製造拠点（イメージ）



**EDOFスコープ
（上部消化管用）**

MPA認可取得（2025年8月）



VISERA ELITE III

MPA認可取得（2025年9月）



**EDOFスコープ
（下部消化管用）**

MPAに認可申請（2025年8月）



**EVIS X1 ビデオ
システムセンター**

MPAに認可申請（2025年9月）

OLYMPUS

- 2025年8月、EDOFスコープ（GIF-EZ1500-C）が江蘇省薬品监督管理局（MPA）より医療機器登録証を取得しました。当社が中国現地生産製品において、MPAの認可を取得したのは本製品が初めてで、まもなく販売開始予定です。
- 他にも現在複数の新製品について現地で型式試験を実施しており、MPAへの登録申請を進めています。引き続き、必要な規制対応に向けて現地当局と緊密に連携してまいります。
- 当社は今後も、付加価値のある差別化された製品の投入に加え、サービスやトレーニング活動を含めたトータルソリューションの提供を通じて、事業成長の実現に取り組んでまいります。

市場拡大とケイパビリティの強化により新興国市場で二桁成長を実現

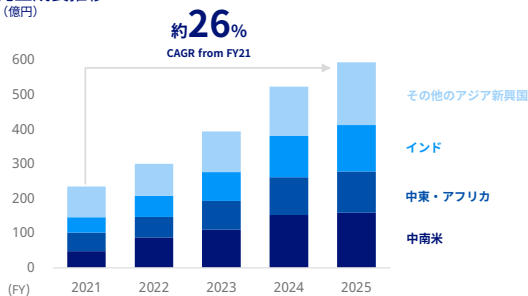
インパクト

新興国市場における持続的な二桁成長トレンド

約**20%**
FY26 vs FY25 (7-9月)
売上高成長率

約**6%**
世界全体の売上高に占める
新興国市場の割合 (FY25)

売上成長推移
(億円)



取り組み

- 普及価格帯の製品ポートフォリオをグローバル市場に提供するための選択肢を検討
ポートフォリオ拡充に向け、地域ごとの成長機会を精査
- 社内のケイパビリティと現地でのプレゼンスを強化
各国の法規制対応に関する人材や現地の医学会との関係を強化
- 先進的なトレーニングを医療サービスが行き届いていない地域へ拡大
トレーニング受講者数の増加に向けて投資を強化し、2026年3月期には約2,100人以上の医療従事者に対するトレーニングを見込む

- 新興国市場では、2026年3月期第2四半期に前年同期比約20%の成長を達成し、高水準を維持しています。新興国では人口増加や経済成長により医療機器の需要が拡大する中、がん罹患率の上昇に伴い、消化器内視鏡による早期発見・治療の重要性がさらに高まっています。一方で、専門性の高い内視鏡医の不足が課題であり、当社はインド、中南米、アフリカなどでトレーニングへの投資を強化しています。
- 新興国やグローバル市場でのさらなる成長を目指し、各地域のニーズに合わせた普及価格帯の製品ポートフォリオ提供への選択肢を検討するとともに、ポートフォリオ拡大に向けて成長機会を精査しています。加えて、社内のケイパビリティと現地でのプレゼンスを強化するため、各国の法規制対応に関する人材の育成や現地の医学会との関係構築にも取り組んでいます。さらに、医療サービスが十分に行き届いていない地域における先進的なトレーニングプログラムの拡充を進めています。これらの取り組みにより、今後も高い成長が続くことを期待しています。

グローバルな事業開発を通じたポートフォリオの拡大

泌尿器科

MacroLux Medical シングルユース膀胱鏡・尿管鏡・吸引機能付きアクセスシース



膀胱と尿路へのアクセスと可視化に使用され、腎結石などの尿路疾患や障害の診断および治療をサポート

発売地域

米国、アジア・オセアニア FY26 3Q～
欧州 FY26 4Q～

市場規模¹

600億円超 7-8% CAGR²

主な疾患

- 腎結石および膀胱結石
- 筋層非浸潤性膀胱がん (NMIBC)

消化器科処置具

内視鏡下留置用胆管向けステント「GORE VIABIL Biliary Endoprosthesis (ゴア・バイアビル・ビリアリー・エンドプロステーシス)」



胆道の閉塞、狭窄を解消するために使用するカバー付きメタリックステント⁴

発売地域

欧州 FY26 4Q～
アジア・オセアニア、その他の地域 FY27 1Q～順次

市場規模¹

400億円超 5-6% CAGR³

主な疾患

- 肝胆膵疾患

¹サービス提供可能な市場規模 (2026年3月期)。本ページに掲載されている対象市場規模と成長率予測は当社調べによるもので、米国、欧州主要5カ国 (ドイツ、英国、イタリア、フランス、スペイン)、日本、中国に関するものです。市場規模は2025年時点のものです。泌尿器科市場規模予測には吸引機能付きアクセスシース、および中国市場は含まれません。²成長率予測は、2024年3月期を起点とした、2025年3月期から2031年3月期までの予想です。³成長率予測は、2024年3月期を起点とした、2025年3月期から2030年3月期までの予想です。⁴適応範囲には地域によって異なります。適応、禁忌、および該当する安全情報に関する情報については、必ずお住まいの地域の取扱説明書を参照ください。

(注) 医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております

10

OLYMPUS

- イノベーションを市場に提供する取り組みの一環として、当社は有力企業とのパートナーシップを進めています。MacroLux Medical社とのシングルユース泌尿器科製品、およびW. L. Gore & Associates社との内視鏡下留置用胆管向けステントに関するグローバル独占販売契約を締結しました。
- まず、MacroLux Medical社との提携により、シングルユース膀胱鏡、尿管鏡、吸引機能付きアクセスシースを含む包括的な製品群を備えた泌尿器科ポートフォリオに拡大できます。これらの製品は、腎結石などの泌尿器疾患の診断・治療における視覚化とアクセスを支援する設計となっており、医師の視認性や手術精度の向上に寄与します。
- 続いて、W. L. Gore & Associates社のソリューションは、胆道の閉塞、狭窄を解消するために使用するカバー付き胆管向けメタリックステントです。本製品を胆膵管領域のポートフォリオに加えることで、急成長する消化器用メタリックステント市場におけるグローバルなプレゼンスの強化を図ります。肝胆膵疾患は10億ドル超の市場規模が見込まれ、当社が市場をリードしています。本製品の導入は、当社の消化器科処置具戦略に沿ったものであり、当社のポートフォリオを一層強化します。

成長と収益性を高める、リーンな事業部門主導型のオリンパス・オペレーティング・モデルを確立

効果的な運営の推進

オペレーティング・モデル

地域を軸にした経営体制から、事業を主体としたシンプルなオペレーティング・モデルへ移行し、シームレスな顧客体験を提供

健やかな組織文化

階層の削減と管理範囲の拡大により、必要な能力開発への投資

生産性の向上

品質とコンプライアンスを徹底しながら、データとAIを活用して業務の一貫性とスピードを強化し、生産性の向上を加速

効率性

約**240**億円
のコスト削減¹
(実施前との比較)

約**2,000**
ポジションの削減¹
2026年3月期～2027年3月期

¹ 記載されたポジションの削減とコスト削減には規制上の制約が存在し、現地の労働法、規則、規制に従って実施いたします。

- 最後に、オリンパス・オペレーティング・モデルを通じた組織変革の一環として、経営戦略に沿ったグローバルな人員最適化を実施します。現在の地域を軸にした経営体制から、お客様中心で臨床ニーズに即したシンプルな事業主体のオペレーティング・モデルに移行します。これにより、機能や地域間の枠を超えて一貫性が向上し、迅速な意思決定が可能になります。
- 今後、この構造改革により年間約240億円のコスト削減と約2,000ポジションの削減を見込んでいます。組織をシンプルにし、階層を減らし、よりスピード感と責任が明確化された体制を実現します。
- これらの変革を通じて、当社は世界をリードするメドテックカンパニーとして持続的な成長を推進しながら、「世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現」に取り組んでまいります。

連結業績および事業概況

2026年3月期 第2四半期

- CFOの泉でございます。
- 私から2026年3月期 第2四半期の連結業績および事業概況について、ご説明申し上げます。

2026年3月期 第2四半期実績 連結業績概況

- 1 売上高：第2四半期は堅調に推移し、成長軌道へ回帰。累計は概ね見通しに沿って進捗
2 調整後営業利益：売上の回復および販管費のコントロールにより、第2四半期の利益率は第1四半期と比較し大幅に改善

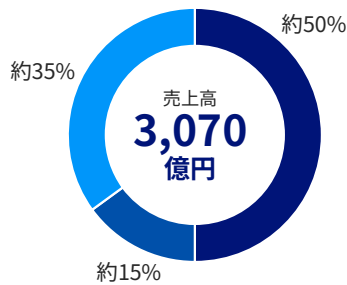
(単位：億円)	FY25 2Q累計	FY26 2Q累計	前期比	為替影響 調整後	FY25 2Q	FY26 2Q	前期比	為替影響 調整後	FY26 1Q	FY26 2Q	1Q vs 2Q	為替影響 調整後
売上高	4,740	1 4,544	▲4%	▲2%	2,392	1 2,478	+4%	+4%	2,065	1 2,478	+20%	+17%
売上総利益 (売上総利益率)	3,230 (68.1%)	2,964 (65.2%)	▲8% (▲2.9%)	▲5%	1,668 (69.7%)	1,613 (65.1%)	▲3% (▲4.6%)	0%	1,351 (65.4%)	1,613 (65.1%)	+19% (▲0.3%)	+17%
販管費 (販管費率)	2,379 (50.2%)	2,421 (53.3%)	+2% (+3.1%)	+4%	1,191 (49.8%)	1,199 (48.4%)	+1% (▲1.4%)	0%	1,222 (59.2%)	1,199 (48.4%)	▲2% (▲10.8%)	▲4%
持分法による投資損益	0	▲38	-	-	2	▲40	-	-	2	▲40	-	-
その他の収益および費用	▲145	▲44	-	-	▲48	▲78	-	-	34	▲78	-	-
営業利益 (営業利益率)	705 (14.9%)	461 (10.2%)	▲35% (▲4.7%)	▲25%	431 (18.0%)	295 (11.9%)	▲31% (▲6.1%)	▲18%	166 (8.0%)	295 (11.9%)	+78% (+3.9%)	+80%
調整後営業利益 (調整後営業利益率)	851 (17.9%)	506 (11.1%)	▲41% (▲6.8%)	▲32%	478 (20.0%)	374 (15.1%)	▲22% (▲4.9%)	▲9%	132 (6.4%)	2 374 (15.1%)	+183% (+8.7%)	+185%
税引前利益 (税引前利益率)	688 (14.5%)	448 (9.9%)	▲35% (▲4.7%)		424 (17.7%)	279 (11.3%)	▲34% (▲6.5%)		169 (8.2%)	279 (11.3%)	+65% (+3.1%)	
当期利益	490	292	▲40%		344	202	▲41%		90	202	+125%	
親会社の所有者に帰属する当期利益	490	292	▲40%		344	202	▲41%		90	202	+125%	

13

OLYMPUS

- 第2四半期の売上高は2,478億円、前期比4%の増収と堅調に推移し、成長軌道へ回帰しました。消化器内視鏡ソリューション事業、サージカルインターベンション事業ともに、欧州、北米、アジア・オセアニアで増収となりました。その結果、第2四半期累計の売上高は4,544億円と、概ね見通しに沿って進捗しました。
- 第1四半期と比較しましても、第2四半期は20%成長と大幅に回復しました。米国関税の影響が原価にありましたが、販管費のコントロールも強化したことにより、調整後営業利益は374億円、調整後営業利益率は15.1%と大幅な改善となりました。
- なお、調整後営業利益には、持分法損益として40億円の損失を含みます。こちらはエンドルミナルロボット製品の開発を目指して設立された合併会社であるスワンエンドサージカル社 (Swan EndoSurgical, Inc) にリバイバル社 (RVLHC SE Holdings, LLC) と共同で出資したことに伴い、約43億円の出資額を費用計上したことが主な要因です。
- また通期見通しに関しましては、冒頭にCEOから説明した通り、8月に公表した数値から変更はありません。

2026年3月期 第2四半期実績 消化器内視鏡ソリューション事業



(単位: 億円)	FY25 2Q	FY25 2Q累計	FY26 2Q	FY26 2Q累計
売上高	1,628	3,224	1,680	3,070
営業利益	425	776	353	534
その他の収益および費用	▲40	▲104	▲28	▲48
調整後営業利益	465	880	381	582
営業利益率 (為替影響調整後)	26.1%	24.1%	21.0% (23.5%)	17.4% (18.7%)
調整後営業利益率 (為替影響調整後)	28.5%	27.3%	22.7% (25.2%)	19.0% (20.3%)

FY26 vs FY25 (7-9月)
売上高成長率

円ベース
為替込み

為替影響
調整後

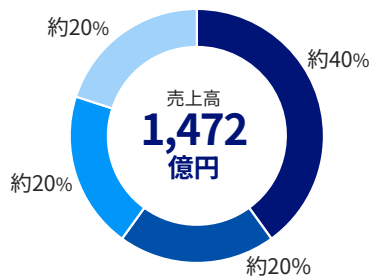
■ 消化器内視鏡	+4%	■ 国産優遇策などの影響もあり競争環境が激化する中国などで売上が減少した一方、英国をはじめ複数の国で好調に推移した欧州や、豪州などが好調に推移したアジア・オセアニアなどで増収	+4%
■ 消化器科処置具	+2%	■ 止血に係る製品群 (止血クリップ「Retentia」、止血関連ソリューション「EndoClot」) が好調に推移した北米などで増収。肝胆膵疾患 (内視鏡的逆行性胆道膵管造影術 (ERCP) 製品など) 製品群などの売上が増加	+1%
■ 医療サービス	+3%	■ サービス契約の価格改定などにより欧州の売上が増加し、増収	+3%
合計	+3%		+3%

14

OLYMPUS

- 次に各セグメントの概況について、ご説明します。
- まず消化器内視鏡ソリューション事業です。第2四半期は前期比3%の増収、調整後営業利益は381億円となりました。
- 各領域の第2四半期（7-9月）の事業概況についてお話しします。
- 消化器内視鏡では、国産優遇策などの影響もあり競争環境が激化する中国などで売上が減少した一方、英国をはじめ複数の国で好調に推移した欧州や、豪州などが好調に推移したアジア・オセアニアなどで増収となりました。
- 消化器科処置具では、止血に係る製品群である、止血クリップ「Retentia」や止血関連ソリューション「EndoClot」が好調に推移した北米などで増収となりました。肝胆膵疾患（内視鏡的逆行性胆道膵管造影術(ERCP)製品など）製品群などの売上が増加しました。
- 医療サービスでは、サービス契約の価格改定などにより欧州の売上が増加し、増収となりました。

2026年3月期 第2四半期実績 サージカルインターベンション事業



(単位: 億円)	FY25 2Q	FY25 2Q累計	FY26 2Q	FY26 2Q累計
売上高	763	1,513	798	1,472
営業利益	44	23	▲23	▲42
その他の収益および費用	▲19	▲50	▲40	▲45
調整後営業利益	63	73	17	4
営業利益率 (為替影響調整後)	5.7%	1.5%	-	-
調整後営業利益率 (為替影響調整後)	8.3%	4.8%	2.1% (4.2%)	0.2% (1.4%)

FY26 vs FY25 (7-9月)
売上高成長率

円ベース
為替込み

為替影響
調整後

■ 泌尿器科	+4%	■ 複数の国で堅調に推移した欧州や「VISERA S」などの新製品効果により好調に推移した日本などで増収。前立腺肥大症(BPH)用の切除用電極やイメージング機器の売上が増加	+4%
■ 呼吸器科	+9%	■ 超音波気管支鏡ガイド下針生検(EBUS-TBNA)で使われる超音波気管支鏡や処置具が好調に推移した北米や欧州などで売上が増加し、増収	+9%
■ 外科内視鏡	+2%	■ 大型案件のあった欧州や、アジア・オセアニアなどで増収。外科内視鏡システム「VISERA ELITEIII」は好調に推移	+3%
■ その他の治療領域	+3%	■ エネルギーデバイスや耳鼻科領域などで堅調に推移し、増収	+3%
合計	+5%		+5%

15

OLYMPUS

- サージカルインターベンション事業です。第2四半期は前期比5%の増収、調整後営業利益は17億円となりました。
- 各領域の第2四半期（7-9月）の事業概況についてお話しします。
- 泌尿器科では、複数の国で堅調に推移した欧州や外来用イメージングプラットフォーム「VISERA S」などの新製品効果により好調に推移した日本などで増収となりました。製品では前立腺肥大症(BPH)用の切除用電極やイメージング機器の売上が増加しました。
- 呼吸器科では、超音波気管支鏡ガイド下針生検(EBUS-TBNA)で使われる超音波気管支鏡や処置具が好調に推移した北米や欧州などで売上が増加し、増収となりました。
- 外科内視鏡では、大型案件のあった欧州や、アジア・オセアニアなどで増収となりました。製品では外科内視鏡システム「VISERA ELITEIII」が好調に推移しました。

連結財政状態計算書

- 1** 資産：棚卸資産や有形固定資産が増加の一方、自己株式の取得や配当金の支払などにより現預金が減少し、総資産は減少
2 負債：法人税の支払に伴うその他の流動負債など¹の減少により、負債は減少

(単位：億円)	2025年3月末 ²	2025年9月末	増減額		2025年3月末 ²	2025年9月末	増減額
流動資産	6,795	6,051	▲744	流動負債	4,254	2,941	▲1,312
現金及び現金同等物	2,525	1,472	1 ▲1,053	営業債務及びその他の債務	614	534	▲80
棚卸資産	1,871	2,086	+215	社債および借入金	950	0	▲950
非流動資産	7,538	7,797	+259	その他の流動負債など ¹	2,690	2,407	2 ▲283
有形固定資産	2,633	2,755	1 +122	非流動負債	2,562	3,571	+1,009
無形資産	940	989	+49	社債および借入金	1,341	2,339	+998
のれん	1,807	1,810	+3	資本	7,517	7,336	▲182
資産 合計	14,333	13,848	▲485	自己資本比率	52.4%	53.0%	+0.6pt
				負債および資本合計	14,333	13,848	▲485

¹ 連結財政状態計算書の勘定科目である、その他の金融負債、未払法人所得税、引当金、その他の流動負債を含みます

² 2025年3月期において発生したチリの販売会社の企業結合について、当連結会計年度において暫定的な金額の修正を行っています

- 2025年9月末の財政状態です。
- 資産合計は前期末比485億円の減少となりました。前期末に減少した在庫の積み増しや戦略的な在庫の構築、米国関税の影響などにより棚卸資産が増加したことに加え、長野工場の新棟建設やグローバル本社に関わる投資により有形固定資産が増加しました。一方で自己株式の取得や配当金の支払、法人税の支払などにより現預金が減少し、資産合計は減少となりました。
- 負債は、法人税の支払に伴うその他の流動負債などの減少により、減少となりました。
- 自己資本比率は前期末比で0.6ポイント増加し、53.0%となりました。

連結キャッシュフロー計算書

1 FCF：法人税の支払や有形固定資産の取得を主要因に、FCFは293億円のマイナス。特殊要因を考慮した調整後FCF¹は26億円のプラス

2 財務CF：自己株式の取得による支出と配当金の支払を主要因に、777億円のマイナス

(単位：億円)	FY25 2Q累計	FY26 2Q累計	増減
税引前利益	688	448	▲240
営業キャッシュフロー（営業CF）	937	211	▲726
投資キャッシュフロー（投資CF）	▲300	▲504	▲203
フリーキャッシュフロー（FCF）	637	▲293	▲930
調整後フリーキャッシュフロー（調整後FCF）	393	26	▲367
財務キャッシュフロー（財務CF）	▲1,567	▲777	+791
現金および現金同等物期末残高	2,459	1,472	▲986

FY25 2Q累計（4-9月）の主な特殊要因		FY26 2Q累計（4-9月）の主な特殊要因	
営業CF：エビデントの譲渡に関する法人税の還付	+290億円	営業CF：エビデントの譲渡に関連した税金の支払（海外・日本）	▲268億円
営業CF：社外転進支援制度の引当金取崩しによる支出	▲18億円	投資CF：Swan EndoSurgical, Incに対する出資など	▲49億円
営業CF：Veran Medical Technologies社の撤退に関わる支出	▲12億円		
投資CF：投資有価証券の取得による支出	▲85億円		
投資CF：条件付対価の決済による支出（Odin Medical社、Arc Medical Design社等）	▲30億円		
投資CF：整形外科事業の譲渡に伴う収入	+52億円		
投資CF：韓国企業を買収解除に伴う買収対価の戻り	+47億円		

¹ 「その他の収益・その他の費用のうちキャッシュイン、アウトしたもの」、「M&A関連支出」、「構造改革関連支出」など特殊要因を調整

OLYMPUS

- キャッシュフローの状況です。
- 営業キャッシュフローは、211億円のプラスとなりました。税引前利益の減少及び法人税の支払などにより、前期比で減少となりました。
- エビデントの譲渡に関連して海外および日本で税金の支払が発生するなど、法人税の支払が前期比で大きく増加しています。
- 投資キャッシュフローは、504億円のマイナスとなりました。増減の主な要因は、長野工場の新棟建設やグローバル本社の投資に関わる支出です。
- 第2四半期累計期間のフリーキャッシュフローは、293億円のマイナスです。事業取得、譲渡、再編など特殊要因を考慮した調整後のフリーキャッシュフローは26億円のプラスとなりました。下期は売上回復と経費のコントロールの強化により、フリーキャッシュフローのさらなる改善を見込んでいます。
- 財務キャッシュフローは、777億円のマイナスとなりました。自己株式の取得と配当金の支払を行ったことが主な要因です。
- 結果、2025年9月末の現金および現金同等物残は1,472億円となりました。

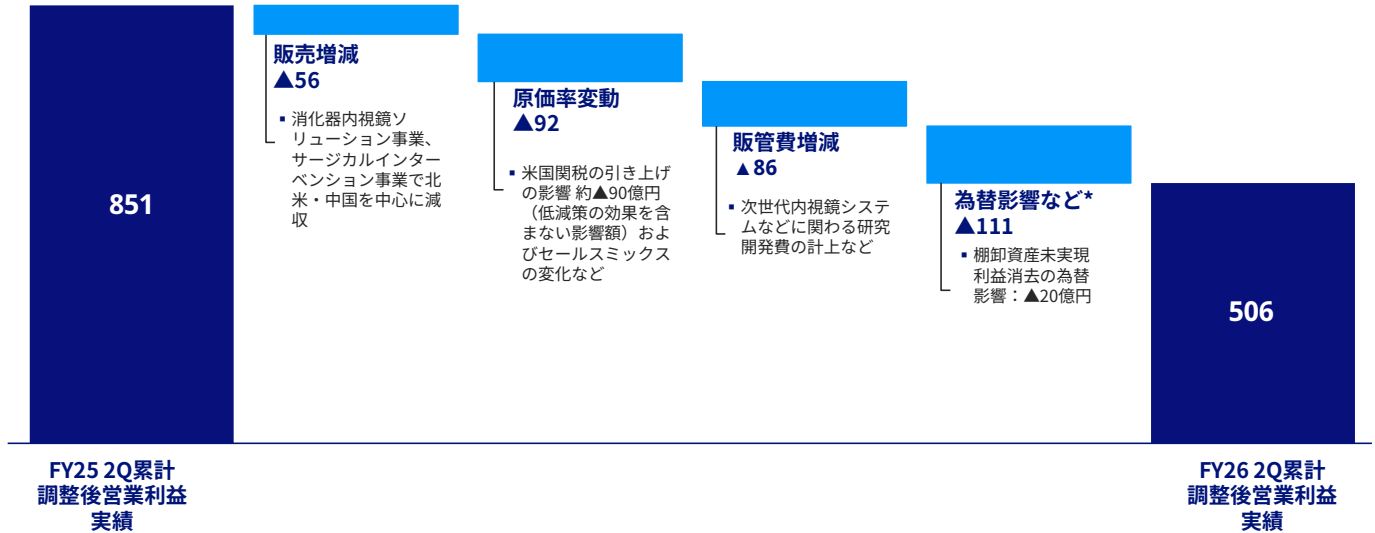
OLYMPUS

- CEOからも説明がありましたが、第2四半期は、新製品の導入や事業開発、中国での現地生産が順調に進み、持続的な成長に向けた取り組みを着実に実行することができました。引き続き様々な課題へ対処しつつ、通期見通しの達成に向け、マネジメントの強いリーダーシップの下、取り組んでいきます。
- 私からの説明は以上です。ありがとうございました。

Appendix

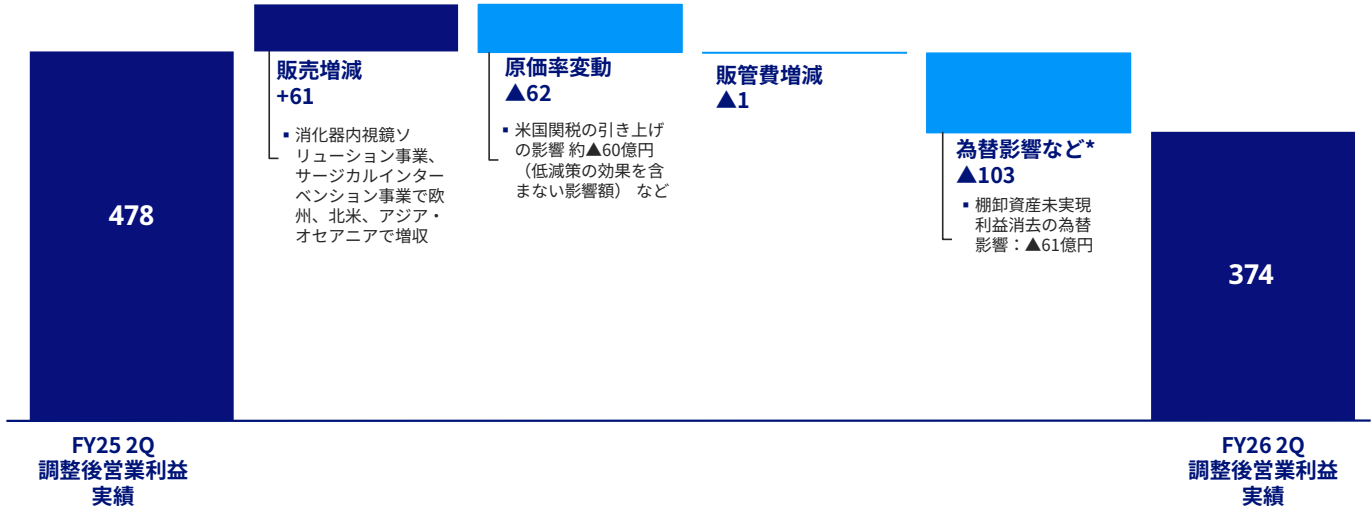
2026年3月期 第2四半期累計実績 連結調整後営業利益増減要因

第2四半期累計実績（4-9月）



2026年3月期 第2四半期実績 連結調整後営業利益増減要因

第2四半期実績（7-9月）



プロダクトパイプライン：消化器内視鏡ソリューション事業 (2025年11月7日時点)

2026年3月期の消化器内視鏡ソリューション事業における重点戦略

消化器内視鏡

- 米国市場においてEVIS X1の発売第2フェーズを開始。EDOF（被写界深度拡大技術）搭載スコープにて差別化されたラインナップを提供：高倍率と広い焦点による拡大観察により、より容易な組織の識別に寄与
- 新興国市場での市場シェア拡大をターゲットにしたアプローチを継続
- 中国での消化器内視鏡の現地生産と市場投入に向けた施策の加速
- 「Aplio」（キヤノンメディカルシステムズとの協業）と「EU-ME3」の2つの超音波内視鏡プラットフォームの導入を推進
- 2026年3月期に欧州および米国で最初のOLYSENSE¹製品を発売

消化器科処置具

- ERCP、ESD、メタルステント、止血デバイスなど主要カテゴリーにおいて、臨床的に差別化された製品ポートフォリオを拡充
- 主要市場である米国、欧州、日本を含む地域で10以上の製品を発売

医療サービス

- 予防保守による稼働時間の拡大、予算、運用サポートなどの顧客ニーズに基づき、業界をリードするサービスを提供
- サービス部門と修理部門の緊密な連携により、効率的で顧客重視のサービスを提供

2026年3月期
売上高成長率（見通し）

3%

為替影響調整後

1%

円ベース

現在の主力製品	直近の新製品 / 発売予定の製品	中長期のパイプライン
消化器内視鏡 - EVIS X1システム・スコープ - EVIS EXERA IIIシステム・スコープ（米国、欧州） - EVIS LUCERA ELITEシステム・スコープ（中国） - 内視鏡用超音波観測装置 EU-ME3（欧州、日本、アジア・オセアニア） 消化器科処置具 - ERCP（ガイドワイヤ） - ESD&EMR（ESDナイフ） - サンプリング（スネア、生検鉗子） - 止血（止血クリップ、止血関連ソリューション） - EUS（超音波内視鏡検査用吸引生検針）	消化器内視鏡 - EXIS X1 EDOF上部消化管用ビデオスコープ（米国、中国） - EXIS X1 EDOF下部消化管用ビデオスコープ（米国） - インテリジェント内視鏡医療エコシステム OLYSENSE（米国、欧州） - 内視鏡用超音波観測装置 EU-ME3（米国、中国） 消化器科処置具 - 止血クリップ Retentia（米国、欧州、アジア・オセアニア） - 超音波内視鏡検査用吸引生検針 SecureFlex（欧州、日本、アジア・オセアニア） - 大腸内視鏡先端アタッチメント EndoCuff Vision（日本） - ディスポーザブル回収ネット（欧州） - 高周波スネア（欧州） - 止血関連ソリューション EndoClot（アジア・オセアニア） - 胆管用メタリックステント GORE VIABIL Biliary Endoprosthesis（欧州、アジア・オセアニア）	消化器内視鏡 - EVIS X1スコープ（米国、欧州、日本、中国） - 新超音波内視鏡 - インテリジェント内視鏡医療エコシステム OLYSENSE - シングルユース十二指腸内視鏡 消化器科処置具 - 止血クリップ Retentia（中国） - 超音波内視鏡検査用吸引生検針 SecureFlex（米国、中国） - 新止血クリップ - 胆管用プラスチックステント

1 OLYSENSEはオリンパス株式会社および/またはそのグループ会社の商標です。すべての商標、ロゴ、ブランド名は、それぞれの所有者に帰属します

（注）医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております

プロダクトパイプライン：サージカルインターベンション事業 (2025年11月7日時点)

2026年3月期のサージカルインターベンション事業における重点戦略

泌尿器科

- iTindの市場開拓を通じて前立腺肥大の分野で業界をリードしつつ、コアのイメージング技術とプラズマ技術の普及率を向上
- SOLTIVE SuperPulsed Laser Systemにより、結石破砕治療における成長を拡大

呼吸器科

- 肺がんの診断とステージ分類の分野において、最新のEBUS-TBNAに一層注力
- 「EVIS X1」プラットフォームの導入促進を継続し、気管支鏡の強みを強化

外科内視鏡

- 外科内視鏡システム「VISERA ELITE III」を米国及び中国（2026年3月期第1四半期）で発売し、市場競争力の向上を図る

現在の主力製品

泌尿器科

- レゼクト電極、ESG-410
- ツリウムファイバーレーザー装置 SOLTIVE SuperPulsed Laser System（米国、欧州、アジア・オセアニア）

呼吸器科

- シングルコース気管支鏡（米国）
- 気管支鏡、超音波気管支鏡
- ディスパーザブル吸引生検針
- スパイレーションバルブシステム
- EVIS X1 気管支鏡（欧州、日本、アジア・オセアニア）
- 内視鏡用超音波観測装置 EU-ME3（欧州、日本、アジア・オセアニア）

外科内視鏡

- VISERA ELITE II 2D/3D/IR機能（米国、中国）
- VISERA 4K UHD（米国、中国）
- VISERA ELITE III（欧州、日本、アジア・オセアニア）

直近の新製品 / 発売予定の製品

泌尿器科

- シングルコース尿管鏡/膀胱鏡（米国、欧州、アジア・オセアニア）
- ツリウムファイバーレーザー装置 SOLTIVE SuperPulsed Laser System（日本）
- 前立腺肥大症低侵襲治療デバイス iTind（米国、欧州、アジア・オセアニア）
- 4Kカメラヘッド（米国、欧州、日本、アジア・オセアニア）
- VISERA S（米国、欧州、日本、アジア・オセアニア）
- OES ELITE 硬性膀胱鏡（米国、欧州、日本、アジア・オセアニア）

呼吸器科

- EVIS X1 気管支鏡（米国）
- 細径EBUSスコープ（米国、欧州、日本、アジア・オセアニア）
- 内視鏡用超音波観測装置 EU-ME3（米国、中国）
- シングルコース気管支鏡（欧州）

外科内視鏡

- VISERA ELITE III（米国、中国）

中長期のパイプライン

泌尿器科

- レーザーシステム

呼吸器科

- EVIS X1 気管支鏡（中国）
- 細径EBUSスコープ（中国）

外科内視鏡

- 次世代外科内視鏡システム

（注）医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております

2026年3月期
売上高成長率（見通し）

1%

為替影響調整後

▲1%

円ベース

OLYMPUS

2026年3月期 第2四半期累計実績 その他の収益および費用

(単位：億円)	FY25 2Q累計	FY26 2Q累計	増減
その他の収益	29	74	+45

主な収益科目	- 和解に伴う、中国生産子会社に対する訴訟の引当金の戻入 13 (全社・消去) - 株式会社エビデントとのライセンス使用許諾等に関する合意に基づく対価 60 (全社・消去)		
その他の費用	174	118	▲56

主な費用科目	- 品質保証・法規制対応の変革プロジェクト「Elevate」に係る一時的な費用 110 (消化器内視鏡ソリューション、サージカルインターベンション) - 品質保証・法規制対応の変革プロジェクト「Elevate」に係る一時的な費用 54 (消化器内視鏡ソリューション、サージカルインターベンション) - 社外転進支援制度の実施に伴う特別支援金等の費用 28 (消化器内視鏡ソリューション、サージカルインターベンション、全社・消去) - 開発資産の減損損失 21 (サージカルインターベンション)		

2026年3月期 通期見通し 連結業績（前期比）

- 1 売上高：9,980億円と前期並みの水準を見込む。為替影響調整後では前期比3%成長と堅調に推移する見通し
- 2 調整後営業利益：1,570億円、調整後営業利益率は15.7%となる見通し。将来の成長に向けた長期的な戦略投資の一方、コスト構造の改革に着手
- 3 親会社の所有者に帰属する当期利益：940億円、EPSは85円となる見通し
- 4 株主還元：年間配当は10円増の30円を予定し、500億円の自己株式の取得を実行中

（単位：億円）	FY25 通期実績	FY26 通期見通し	増減	前期比	為替影響調整後
売上高	9,973	1 9,980	+7	0%	+3%
売上総利益 （売上総利益率）	6,837 (68.6%)	6,595 (66.1%)	▲242	▲4%	0%
販売費および一般管理費 （販売費および一般管理費率）	4,957 (49.7%)	4,985 (49.9%)	+28	+1%	+2%
その他の収益および費用など	▲256	▲250	-	-	-
営業利益 （営業利益率）	1,625 (16.3%)	1,360 (13.6%)	▲265	▲16%	▲8%
調整後営業利益 （調整後営業利益率）	1,885 (18.9%)	2 1,570 (15.7%)	▲315	▲17%	▲9%
税引前利益 （税引前利益率）	1,591 (16.0%)	1,310 (13.1%)			
当期利益	1,179	940			
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,179	3 940			
EPS	103円	85円			

2026年3月期配当

4 年間配当30円を予定

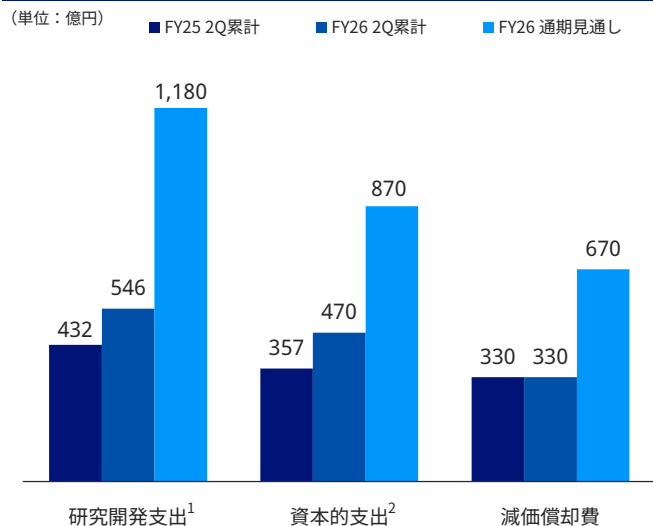
2026年3月期 通期見通し 連結調整後営業利益増減要因（前期比）



（単位：億円） * 「持分法による投資損益」が含まれています

投資実績推移および2026年3月期 通期見通し

第2四半期累計実績（4-9月）および通期見通し



(単位：億円)	FY25	FY26	FY26 通期見通し
研究開発支出 ¹ (a)	432	546	1,180
開発費資産化 (b)	69	94	250
損益計算書上における 研究開発費 (a-b)	363	452	930

(単位：億円)	FY25	FY26
償却費	39	42
	2025年6月末	2025年9月末
開発資産残高	652	673

1 研究開発支出には、開発費資産化(b)の数値が含まれています
2 資本的支出には、開発費資産化(b)の数値が含まれています。また、2021年3月期よりIFRS第16号「リース」を適用し、資本的支出には下記使用权資産が含まれています。(FY25 2Q累計：80億円、FY26 2Q累計：58億円、FY26 通期見通し：100億円)

為替レート及び為替感応度

☒ 通期見通しの前提となる為替レートは、直近1ヵ月間の平均値を原則としている

為替

(単位：円)	FY25 1Q	FY25 2Q	FY26 1Q	FY26 2Q	FY26 見通し
円／ドル	155.88	149.38	144.59	147.48	144.90
円／ユーロ	167.88	164.01	163.80	172.32	169.20
円／人民元	21.48	20.82	19.99	20.6	19.92

為替感応度（年間）

(単位：億円)	売上高	営業利益
ドル（1円あたり）	28	7
ユーロ（1円あたり）	16	6
人民元（1円あたり）	45	21

*上表の数値は継続事業の金額を表示しています。また、為替感応度（年間）はFY25Q4実績より算出しています

略語集

略語	英語	日本語
BPH	Benign Prostatic Hyperplasia	前立腺肥大症
EBUS-TBNA	Endobronchial Ultrasound-guided Transbronchial Fine Needle Aspiration	超音波気管支鏡ガイド下針生検
EMR	Endoscopic Mucosal Resection	内視鏡的粘膜切除術
ERCP	Endoscopic Retrograde Cholangio Pancreatography	内視鏡的逆行性胆道膵管造影術
ESD	Endoscopic Submucosal Dissection	内視鏡的粘膜下層剥離術
EUS	Endoscopic Ultrasound	超音波内視鏡